

オーストラリアン・フィールド・スタディ (AFS) : 英語と自然環境保護を学ぶ

担当教員名 ストックウェル エスター／板橋 美也

1 コースの概要

日 程	2014年3月1日～16日
場 所	オーストラリア、クイーンズランド州
参加人数	24名

2 コースの目的

以下の三つの大きな研修目的に分けることができます。

- ① ボンド大学付属語学学校で英語を学ぶこと
- ② 世界的に珍しいオーストラリアの自然を学ぶこと
- ③ オーストラリアの文化を学ぶこと

3 事前学習

AFS の効果を高めるため、AFS の出発前に事前授業を6回行いました。内容としては、Tangalooma 島と Lamington 国立公園の自然環境と自然保護について、オーストラリアの文化について、異文化コミュニケーション方法について、そして、英語の基本表現力などについて学びました。

4 行程

① 語学研修

英語の授業は、クイーンズランド州ゴールドコースト市内のボンド大学キャンパス内にある大学付属語学学校 (Bond University English Language Institution (BUELI)) で行われました。BUELI 授業の開始初日に、Placement Test (英語力の判断をするためのテスト) が実施されました。このテストのスコアに基づき授業を受けるクラスレベルが指定されます。これは、「生徒の現在の能力にあうレベルで英語を学ぶことがその習得に役立つ」という考えからです。授業のプログラムは、学習の基礎となる項目である「聴く、話す、読む、書く」の能力向上を目指して総合的に進められました。

② オーストラリアの自然環境研修

・タンガルーマ、モートン島

タンガルーマ、モートン島は、世界で三番目に大きい砂の島です。モートン島には様々な自然環境があり、



モートン島で海洋生物学の専門家から話を聞く

素晴らしいビーチや砂丘を始め、湖、小川、岬等の地形、スゲ、ペーパーバッグスワンプ、バンクシア、マングローブなどの植物の育成地にもなっています。また様々な野鳥も生息しており、ジュゴン、イルカ、クジラ、海亀、エイなど多数の海洋生物が生息しています。モートン島の殆どの場所は国立公園に指定されており、厳しい取り決めにより自然を保護しています。参加する学生は1泊2日の日程で、特に元気な野生のイルカ達に直接餌を与える貴重な体験を含む、島にある様々な自然環境を体験し、その保護などを学びました。そして、島の自給自足についても学びました。

・レミントン国立公園

AFS では、 Gondwana 雨林保護区の一つのレミントン国立公園も訪問し、自然環境研修を行いました。レミントン国立公園には、亜熱帯、乾燥、温帯、寒帯の気候に属する植物が生息していて、太古の自然を思わせる景観が広がっています。亜熱帯地域のナンヨウスギ、寒帯地域にのみ見られるナンキョクブナ、また最古のシダ植物などの170種以上の希少な植物の他、クサビオヒメインコやアルバートココドリなどの絶滅危惧種を含む270種の鳥類、フクロギツネやパルマワラビー、ヒメウォンバットなどの珍しい動物を見ることが出来ます。本フィールドスタディでは、この貴重な自然をオーストラリアの政府がどのように保護しているか、どのように eco-tourism に結びつけているかなどを学びました。

③ 2週間の本フィールドスタディ中は、各学生が、日本人学生の受け入れ経験のあるオーストラリア人の家庭で過ごしました。オーストラリア人の実際の生活を通じて、オーストラリアの文化を学ぶことも貴重な経験となりました。

5 事後学習

AFS に参加した学生には2つの課題が出されました。一つはフィールドスタディ全体についてのポートフォリオを作成することです。もう一つはオーストラリアの自然環境研修についてのグループ・プレゼンテーションで、この課題の発表会がありました。



ホストファミリーたちと



レミントン国立公園の森を歩く



ボンド大学キャンパス



英語コースを終え、修了証書を手元に記念撮影

学生の声

「今でも忘れられないオーストラリアでの2週間」



2年 岡部 祐季

オーストラリアフィールドスタディー（AFS）では、2週間ホームステイをしながらオーストラリアで過ごします。日本語の通じない国でバスに乗ったり、買い物をしたり、普段何気なく過ごしていた日常がオーストラリアという環境に変わるだけでかなり違ったものになります。英語が分からないため、最初の1週間はホームシックになってしまいましたが、2週目に入ると徐々に英語にも馴染めてきてとても有意義に過ごすことができました。

参加してみて思ったことは、英語の得意不得意は関係ありません。言葉以外にもコミュニケーション方法はたくさんあります。

日本では体験できないことがオーストラリアにはたくさんあります。野生のコアラを見たこと、語学学校に通って異文化交流をしたことなど、どれも今思い出しても楽しく意味のある体験でした。AFSに参加しない理由はありません。是非、一足早い夏をオーストラリアで体験してきてください。かけがえのない思い出になること間違いありません。